

一九五七番

卯うの花はなの 散ちらまく惜をしみ ほととぎす 野のに出い  
で山やまに入いり 来き鳴なきとよもす

一九五八番

橘たちばなの 林はやしを植うゑむ ほととぎす 常つねに冬ふゆまで  
住すみ渡わたるがね

一九五九番

雨あまばれの 雲くもにたぐひて ほととぎす 春かすが日をた  
して こゆな鳴わたき渡る